

# 【公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団】

## 2023 年度 助成研究募集要領

公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団は「人間と遊び」という視点に立った科学技術の研究助成をすることを主な目的として、1992年に設立され2011年に公益財団の認定を受けた法人です。

この視点に立脚した研究開発等を対象に、設立以来途切れることなく、毎年広く研究助成を展開してまいりました。

本年度は、下記の要領で研究助成の対象者を募集いたします。多数の研究者のご応募をお待ちしております。

### 記

## 1. 研究助成の対象分野

ゲームの分野の研究を助成する「助成研究 A」、人間と遊びに関する研究を助成する「助成研究 B」を助成対象の2分野とします。

- ※ 本件助成は、広く社会一般の「公益」に資する研究等に対して助成を行うものです。従って、特定の業界や愛好者団体の「共益」をめざす研究は助成の対象になりません。
- ※ 本年度は、国際交流＝ゲームに関する国際会議の「開催」「参加」に対する助成は行いません。
- ※ 募集に際しては、実務的な研究成果を期待し、かつ、複数人で行うときは異分野間の共同研究を推奨します。

## 2. 研究課題

### (1) 助成研究 A＝ゲームの分野の研究に対する助成

#### ① 重点研究

##### 「人間性・社会性を高めるゲーム」

SNSの普及に伴い、匿名での発言が可能になっていることも手伝い、他人の個性を軽んじたり、信念・信仰・立場の違いによる人々の分断・対立を助長したりするような行為が社会問題になっています。また、子どもや社会的弱者の人権にかかわるニュースが報道され、日本のみならず、人間性と社会性の弱まりがとても気になる時代になってきていると感じられます。

一方、年齢層に応じて様々な忙しさの中で日々を過ごしていく私たちにとって、ゲームの世

界は現実を離れて没頭できる時間です。「戦う」、「破壊する」など現実世界ではできないことを楽しむのもゲームの魅力のひとつですが、同じ戦うといってもスポーツのように、相手を尊重しながら互いに切磋琢磨するようなゲーム、ともに協力しながら目標に向かって進んでいくゲームもあります。

そこで本年度は上記の状況を考慮して、人間関係を大切に、社会を平和に向けてともに盛り上げていくことを趣旨とするゲームの提案・開発・研究を公募いたします。公募対象につきましては、上記の趣旨に沿っており、以下の点に配慮されているものを期待しております。

- ・世代を越えて一緒に楽しむ、あるいは作り上げることができるゲーム。
- ・ゲームとして完成されていなくても、要素技術として今後普及・活用できるものの開発。
- ・未完成のゲーム提案の場合でも、できる限り実現に向けた具体性をともなうもの。
- ・ゲームの中に、生成系 AI を正しく活かす方向性の提案。

もちろん、これらの内容に限らず、前述の趣旨に沿った幅広い研究を期待いたします。

## ② 基礎的・基盤的研究

「ゲームの本質に関する研究」、「ゲームと人間に関する研究」

「ゲームと社会に関する研究」及び「ゲームと技術に関する研究」

(2) 助成研究 B＝「人間と遊び」に関する研究に対する助成

「遊びの本質及び影響に関する研究」、「遊びの社会的諸活動への応用に関する研究」及び

「助成研究 A 又は B のいずれの課題にも属さない『人間と遊び』の研究」

## 3. 募集条件

### (1) 応募資格

国内の大学院、大学、短大、高専、専門学校及び非営利の研究機関等に所属する研究者又はこれらの機関に所属する研究者を代表者とする共同研究グループ

※ 研究者には大学院後期博士課程在籍者を含みます。但し、指導教員の推薦が必要です。

### (2) 研究助成額

① 助成研究 A：総額 2250 万円（1 件当たり 300 万円）以内

② 助成研究 B：総額 750 万円（1 件当たり 100 万円）以内

### (3) 研究期間

2024 年 3 月 1 日～2025 年 2 月末日の 1 年間

※ 研究期間の特例

研究期間は原則 1 年とする。ただし、助成研究 A であって継続の研究をすべきと思われるものについて

は2年間を上限に追加助成を認める場合がある。

#### (4) ヒトを対象とする研究

採択された際には、所属機関の倫理審査を受けること及び採択された研究の成果報告の際には、倫理審査を受けた旨を明記することを誓約していただきます。

#### (5) 生成AIを利用することについて

①生成AIを研究、または研究報告書作成に使用することは可とします。ただし、どの程度どこの箇所において使用したのか必ず申告することを条件とします。

②生成AIを使用しているように見受けられるにもかかわらず、使用した旨の申告がない場合は審査の中で可否を判断します。

③たとえ研究者本人が意図せずとも、著作権法に触れた場合、当財団は責任を負いません。著作権については研究者が管理することを前提とします。

### 4. 応募方法

#### (1) 応募期間

2023年9月1日～2023年10月15日

#### (2) 提出書類

助成研究の申込書：指定様式

研究計画書：指定様式

研究実績の申告書：本人の研究実績及びプロフィールを記載したURL

※ 当該URLがない場合の様式・記入方法等の詳細は、当法人のウェブサイトを確認してください。

#### (3) 応募方法

当財団ウェブサイトの応募ページから申し込んでください。

### 5. 審査・採択

#### (1) 審査方法

非公開の学識経験者である選考委員（委員長のみ公開）が、次の2段階により慎重に審査して、事実上の決定をします。

①事前審査：各委員が分担して応募書類を閲読して行う。

②本審査：事前審査結果を基に、委員全員の会議形式により行う。

## (2) 最終決定及び発表

理事会は、選考委員会の答申を尊重して2024年1月中旬に最終決定し、同月中旬に結果を当財団ウェブサイト上で発表します。

## (3) 研究費用の提供

「研究助成条件同意書」の提出等当財団の定める手続きの完了を条件として、2024年2月中に全額を提供します。

## 6. 助成を受けた研究者の義務

### (1) 研究報告書等の提出

研究(代表者)は、研究終了年の4月末日までに、当財団の指定様式により研究報告書、研究報告書概要及び会計報告書等を提出しなければなりません。

### (2) 研究成果発表会への出席及び発表

研究代表者は、研究終了年の11月(予定)に当財団が開催する「研究成果発表会」に出席し、指定された方法で成果を発表しなければなりません。

## 7. 個人情報取り扱いについて

申込に係る個人情報は、審査のために必要な範囲で特定の関係者に開示するほかは公表しません。但し、採択された研究代表者につきましては、当財団ウェブサイト上で氏名、所属機関及び肩書を公表します。

## 8. 当財団への連絡

名称：公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団 事務局

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座三丁目15番8号 銀座プラザビル3階

電話：03-6226-6161 メール：info@nakayama-zaidan.or.jp

HP：<https://www.nakayama-zaidan.or.jp/>

以 上